**「◯◯学」レポート　　　　←何の科目かを必ず書くこと。**

**「猫のしっぽの法律問題」　←タイトルを必ずつけること**

**提出日：2016年1月31日**

**○○学部　○○学科　学生証番号12345679**

**名前：△△ ▼▼**

**↑表紙として別にしてもよい。**

**1. はじめに**

　本レポートでは、猫のしっぽにどのような法律的問題があるかを、授業をふまえたうえで調べて考える。具体的には、猫のしっぽは１）長いほうがいい、２）短いほうがいい、という両方の意見があるが、そのメリット・デメリットを比較したい。私の結論を先に述べると、「猫のしっぽ問題は総合的に考える必要がある」というものである。

　私がこのレポートで猫のしっぽについて調べてようと思ったのは、授業で「・・・」の問題について扱われていたので、さらに深く調べてみたいと思ったからである。

* 最初にテーマをはっきり述べる。
* 自分の主張や、その授業との関連なども最初に述べておく。

**2. 猫のしっぽについての状況**

**2.1 「池袋事件」から考える**

　2015年7月1日の池袋新聞朝刊では、池袋大学キャンパス内で「猫のしっぽ」事件が起こったことが報道されている。犯人は「猫のしっぽは長ければ長いほどいい」と発言したそうだが、ここにはどういう問題があるだろうか。しっぽが短い種類の猫もたくさんいるのに、それを無視することになっていないだろうか？

* 具体的に問題になった事件などについて説明する。
	+ Googleのニュース検索など。「法律ニュース」などで検索してみる。

**2.2 法律上の扱い**

　まず、現在の日本の法律で、猫のしっぽがどのような扱いになっているかを調べてみた。「犬および猫のしっぽに関する法律」では、第15条に、「犬および猫のしっぽについては、その長さに応じて異なった取り扱いをしてもよい」と書かれている。しかし、どのような意味で異なった取り扱いをしてもよいのかは、法律を読んだだけではよくわからない。考えていくためには、実際の運用や裁判例、賛成・反対のさまざまな意見を比較して考える必要があると思われる。

* 文献の調べ方：
	+ 必ず図書館に行って、いろいろな本を実際に見てみること。
	+ インターネットを使う場合、CiNii や J-Stage などを有効活用すること。
* 法律や判決の調べ方：
	+ 法律：　「e-Gov 法令検索」などが使える。
	+ 判決：　裁判所の判決は、最高裁判所サイトの「裁判例情報」などで調べる。
	+ 国会での議論の様子は、「国会会議録検索システム」などで調べる。

**2.2.1 外国での扱い**

　外国での猫のしっぽの扱いはどうなっているだろうか。アメリカの動物法では、猫のしっぽについてはっきりした決まりがないようである。これはおそらく、アメリカ人の多くは猫よりも犬のほうが好きだからだろう。

一方、ヨーロッパでは猫のしっぽにこだわる人が多いようで、たとえばオランダでは、猫のしっぽを①長いもの（30センチ以上）、②中ぐらいのもの（15センチ以上）、③短いもの（それ以下）、に分け、異なった扱いをすべきことが定められている（参考文献１、25頁）。

* 外国での状況もできるだけ調べる。
* 調べたことは、（参考文献１、25頁）などのように必ず書く。
	+ - 書き方はいろいろある。例：（猫山 2015、25）
		- 脚注、文末注にしてもよい**\*[[1]](#footnote-1)**。

**3. 議論**

**3.1　長いほうがよい派の議論**

　猫のしっぽは長いほうがよい派の代表として、○○氏がいる。○○氏は、その理由として、以下のようなものをあげている（参考文献２、125-130頁）。

1. 長いといろいろ便利
2. 長いほうが見栄えがよい
3. 長いと機嫌がよいかとかよくわかる

**3.2 短いほうがよい派の議論**

　猫のしっぽは短いほうがよい派の議論として、△△氏がいる。△△氏は、その理由として、以下のようなものをあげている（参考文献３、51-60頁）。

1. 短いしっぽもかわいい
2. 日本の猫のしっぽは短いものが多い
3. 機嫌などは、しっぽだけでわかるものではなく、総合的に判断すべき

**3.3 中間派の議論**

　それ以外の議論としては、「人間基準で考えすぎていないだろうか。猫の幸せを基準にすれば、しっぽの長さは関係ないはずである」、「猫にはそれぞれのよさがあるのだから、しっぽだけ取り上げて議論しても意味がない」などの議論がある（参考文献４、12頁）。

* 賛成派、反対派、中間派などの議論を紹介する。
* 何をめぐって対立しているのか、を明らかにする。

**4. 考察**

　ここまで、長いほうがよい派、短いほうがよい派の議論を見てきた。私の意見では、長いほうがよい派は、しっぽの長さだけにこだわっていて、他の重要な論点を見逃してしまっているように思える。猫には、模様などの重要な点もたくさんある。

　その点では、短いほうがよい派のほうがバランスの取れた考え方であると思う。しかし、短いほうがよい派は日本の猫のことばかりを考えていて、世界的な視点であまり考えていない欠点があると思う。

* 両者の意見を比較し、よいところ、悪いところを考える。

**5. 結論**

　以上から、私は「猫のしっぽの長さは総合的に考えるべきで、さまざまな長さのしっぽにとって公平な法的取り扱いをするべき」だと思う。そのためには、法律でも「しっぽ罪」を新設するなど、より厳格な態度で望む必要があるだろう。また、単に法律を厳しくすればよいというものではない。たとえば、専門家によるしっぽ教育などを通じて、猫のしっぽについての社会的意識を高めていく必要がある。

* 自分なりの結論、今後に向けた展望を述べてまとめとする
* **単なる感想は不要**。何をどうすべきかを具体的に主張してください。

★ 参考文献一覧

1. 犬猫犬子『猫のしっぽは長いほうがよい！』（猫猫堂、2012年）

2. 宇都宮猫八「猫は模様も大切」（『まいにち猫新聞』、2015年7月26日）

http://mainichi-nekonews.co.jp/20150726.html（最終閲覧日：2016年1月27日）

3. キャット・ジョンソン（猫委員会訳）『グローバル化時代の猫』（猫通信社、2011年）

4. 猫田うさぎ「オランダにおける猫法の現状」（『動物法研究』56巻4号、2016年）

5. 猫山太郎『世界の猫事情』（岩波書店、2015年）

* 参考文献は必ずこの順番でしっかり書く。
	+ 書名は『』、論文・記事名は「」で囲む。
* インターネットのページも、著者・タイトルなどを忘れずに。

（3526字）

↑最後に字数を書く

1. \* 参照、［犬猫 2012：121］。**注の付け方も必ず覚えておこう**。ワードだと 参考資料＞脚注の挿入。文末注にしたり、いろいろ工夫したい場合もそこから。 [↑](#footnote-ref-1)